



大砂土中だより

はつ らつ
澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.2 令和5年5月8日号

凡事徹底

校長 上続 昌司

「五月晴れ」と、この時期の天気の良い日の事を表現しますが、まさにその言葉通りの晴天の日に、青く澄みきった空を見上げてみると、気持ちも晴れやかになります。

新しい年度、学期が始まって約一ヶ月が過ぎました。少し大きめの標準服に身を包み、緊張して臨んだ入学式も、無事に体育館アリーナで開催することができました。新入生誓いの言葉では「時には悩み立ち止まってしまうこともあるかもしれませんが、その時はここにいる198名の心強い仲間と力を合わせ、困難を乗り越えていきます」と、力強く宣言してくれたことが鮮明に心に残っています。しっかりと未来を見据え、歩んでいこうとする強い意志を感じました。大いに中学校生活を楽しんでほしいと思います。

さて、今年度も新学期始まって3日目、4月12日に避難訓練を行いました。火災を想定し、避難支持が出てから全校生徒が整列、点呼が完了したのは5分弱でした。まだ、新しいクラスの仲間との交流も深まっていない中、この短時間で避難できたことに今年も嬉しさと、頼もしさを感じることができました。焦らず、慌てず訓練に集中できた要因はいくつかあると思いますが、やはり重要なのは「普段の生活」にあると思います。始業式の翌日から、各学年で集会を行い、新しいクラスで整列する姿がありましたが、どの学年も素早く整列することができていました。特に、2、3年生の行動は早く、「先輩らしさ」が伝わってきます。避難訓練ではもう一つ、話を聞く時の態度も立派でした。有事の時、素早く集合できたとしても、次の指示を聞き逃すようであれば、安全な行動にはつながりません。授業中、誰かが発言している時にその人の方を見て聞いている人は、伝えようとしている内容を理解し、付け足したり質問したりすることができます。

実際に災害が起きた時、動揺せずに行動することは大人でも難しくなります。地震が起きた時、一瞬怯んでしまった経験は誰にでもあると思います。いざという時、慌てず行動できるように、普段から心がけておくことが重要ですね。当たり前のことが、当たり前にできるようにしておくこと「凡事徹底」を、実行していきましょう。